



かがやき

るるるるるる
るるるるるる
るるるるるる
るるるるるる

鳴鼓小学校
立上町津時 第14号

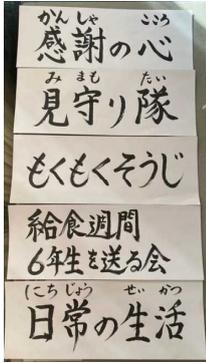
令和5年1月14日
校長 今井大輔

感謝の心を...

新しい年、そして、3学期が始まりました。始業式の中で『感謝の心』を表す学期にしてほしい」という思いを子供たちへ語りました。「感謝」は、ありがたいと思う気持ちです。それを表すのは、言葉や行動です。次のような場面で感謝を表す言動がとれると嬉しいと語りました。

- ・毎日、寒い日や雨の日でも子供たちの登校の安全を見守ってくださっている地域の方へ、あいさつや会釈、手を振るなどして表す。
- ・これまで使わせてもらっている教室や廊下、校舎へ感謝を込めて「もくもくそうじ」に取り組む。「もくもくそうじ」から「もくピカそうじ」にすることで表す。
- ・3学期の行事（給食週間や6年生を送る会）で表す。
- ・日常生活の中で表す。

毎日一緒に勉強したり、遊び笑いあってくれたりしてくれている友達へ。一緒に学習をしている先生方へ。そして、一番大切な家族へ。



3学期は、1年間のまとめの時期でもあり、次年度へのスタート準備の時期でもあります。これまでを振り返って様々なことへ感謝し、更に、次に向かう希望をもてる学期になるように職員と子供たち、学校全体で取り組んでいきます。

3学期の抱負

始業式で代表3名が発表しました。要所のみを掲載します。

★2年 松山愛依さん

（前略）3学期にがんばりたいことは二つあります。

一つ目は、かけ算九九です。なぜかというと、学校で朝にしている百マス計算のタイムをもっと短くしたいからです。（略）

二つ目は、漢字をたくさん覚えることです。（略）漢字を覚えるために、たくさん書いて練習して、3学期の漢字テストで良い点数がとれるようにがんばります。

★5年 浜崎 基さん

（前略）3学期は、6年生になるための準備期間です。今ぼくが入部している鳴鼓陸上クラブも部員が増えてきましたが、6年生にたよってばかりいるので、自分もみんなをまとめるようにがんばりたいです。（後略）

★5年 藤原 綾香さん

私の3学期の目標は、「6年生になるための準備をしつかりと行うこと」です。（略）さらに「あいさつ」もレベルアップしたいです。登校班で、低学年のお手本となるようなあいさつがまだできていないと感じたので、見守り隊の皆さんが笑顔になるようなあいさつをしていきたいです。



イングリッシュパフォーマンス

12月23日（金）の午後から時津町公民館で、時津町内小中学生によるイングリッシュパフォーマンスコンテストがありました。小学生のコンテストは新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、3年ぶりに実施されました。鳴鼓小からは、6年の松田晴斗さん、嶽本京伽さんが出場しました。



二人とも緊張したと終わった後に感想を述べてましたが、堂々とスピーチをすることができました。松田さんは、野球のジェスチャーを交えながら、嶽本さんは、得意のダンスを披露しながら流れるような英語でしっかりとアピールできました。最後の「メリークリスマス！」の言葉と同時にポーズを決めたときには、場内から温かい笑い声と拍手が起りました。練習から本番まで良い経験になったことでしょう。

つばやき

今年の元旦に上左底にある摩利支天へ初日の出を見に出かけた。これまでは、大原野神社と摩利支天には、何度か初詣に行ったことはあったが、御来光を拝むのは初めてであった。まだ薄暗い午前7時くらいに到着したのだが、もう、その頃には大勢の人が集まっていた。山頂の鳥居付近には、顔馴染みの地域の方が10名程集まっており、着くや否やお神酒をといでくださった。お神酒と言えは量ではなく、コップ一杯のお酒だったが、地域の方の歓迎と心配りを嬉しく思った。頂上付近では、日の出を写すためのベストポジションを陣取っている若者も数名いたのには少し驚きであった。



その後、7時40分過ぎに向いの山（長与方向）からの御来光を拝むことができた。皆の頬に光が差し込むと同時に、鳴鼓小が農業体験でいつもお世話になっている左底なづみ会会長の荒木さんの音頭で、万歳三唱が始まった。その場の雰囲気は、光と共にパツと明るくなり、あたたかな雰囲気包まれた。これまで、いろいろな場所での初日の出を見る機会があったが、今回のように顔見知りが多い中で見たのは初めてであった。美しい物を見たり、ありがたいと思ったりするのを家族以外と共感できる素晴らしさを味わえたのは新年早々幸運であった。この1年がよい年になることを予感しながら摩利支天を後にした。